

飯南町DX推進計画

令和7年3月改定

飯南町

1. 計画策定の背景と目的

新型コロナウイルス感染症の拡大により、これまでの生活様式や働き方など、社会のあり方が大きく変化しました。この感染症への対応により、様々な点において、行政におけるデジタル化の遅れが顕著となり、デジタル社会の実現の必要性が高まってきました。

こうしたことから、国においては「デジタル社会の実現に向けた改革の基本方針」が定められ、「デジタルの活用により、一人ひとりのニーズに合ったサービスを選ぶことができ、多様な幸せが実現できる社会～誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化～」を目指すべきデジタル社会のビジョンとして掲げられました。これは、行政だけでなく、社会全体で取り組むべき目標となっています。

本町においては、国が策定した「自治体デジタル・トランスフォーメーション(DX)推進計画」を基に、目まぐるしく変化する社会情勢や多様化する住民ニーズへ対応していくために、デジタル技術やデータを積極的、効果的に活用し、住民の利便性を向上させるとともに、業務の効率化を図り、行政サービスの更なる向上に取り組んでいくよう考えています。

【参考】

「自治体デジタル・トランスフォーメーション (DX) 推進計画」

○重点取組事項

- ・自治体フロントヤード改革の推進
- ・自治体の情報システムの標準化・共通化
- ・公金収納における eLTAX の活用
- ・マイナンバーカードの普及促進・利用の推進
- ・セキュリティ対策の徹底
- ・自治体の AI・RPA の利用推進
- ・テレワークの推進

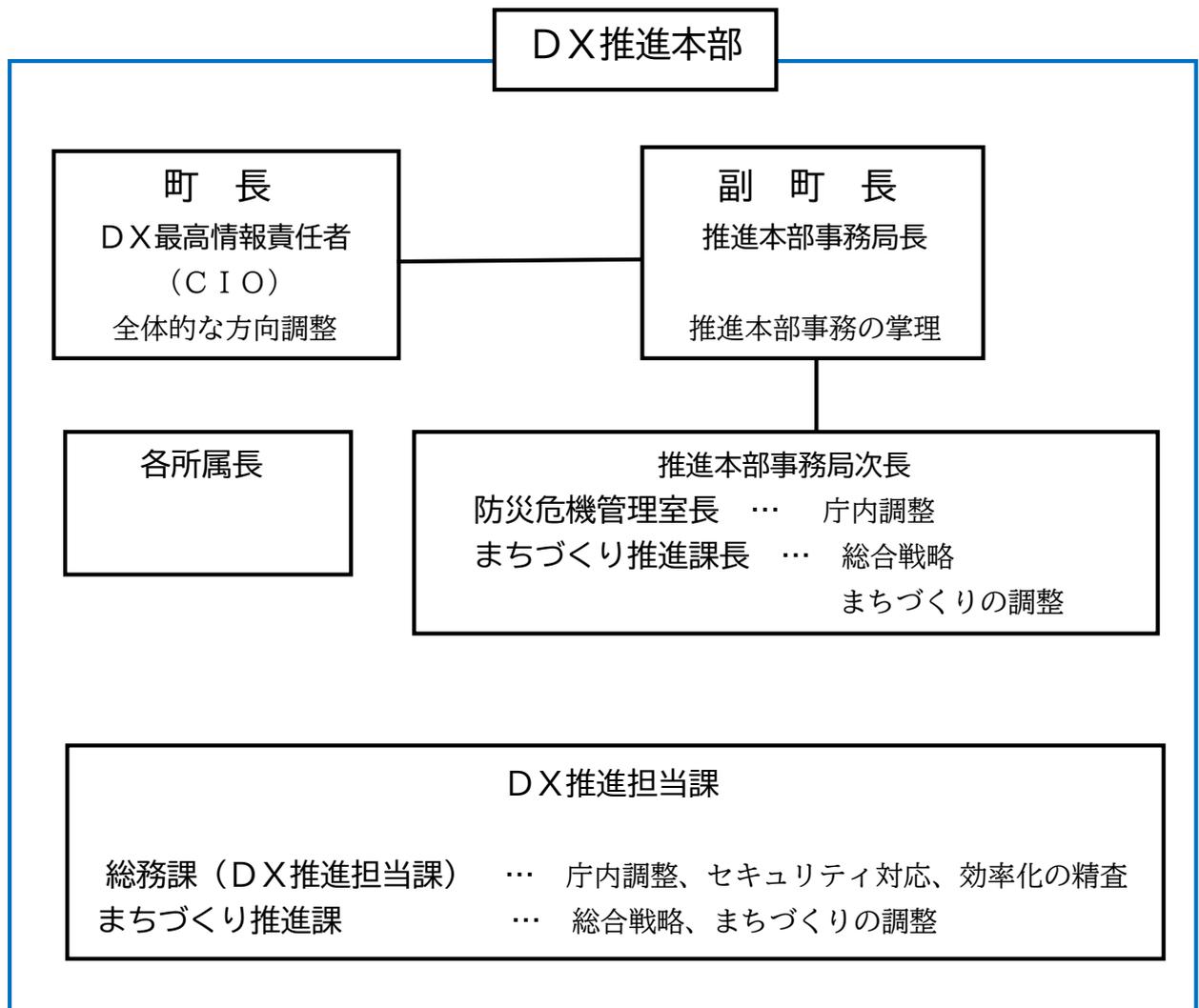
2. DX推進にあたっての課題

本町においては、高齢化率が47%と高いことに加え、70代以降の5割の方がインターネットを活用していない状況にあり、住民生活においてデジタルが十分に浸透しているとは言えない状況にあります。

本町におけるDX推進の課題としては、以下の内容が考えられることから、これらに対応する取り組みが必要となっています。

- (1) 住民のデジタル化への抵抗感（意識改革）
- (2) デジタル機器の購入や操作に対する不安解消
- (3) デジタル化に対する学習機会の不足
- (4) 多様化する住民ニーズへの対応

3. DX推進体制（DX推進本部）



4. 飯南町におけるDX推進目標

- (1)自治体の情報システムの標準化・共通化
- (2)マイナンバーカードの普及促進
- (3)自治体の行政手続のオンライン化
- (4)自治体のAI・RPAの利用促進
- (5)テレワークの推進
- (6)セキュリティ対策の徹底
- (7)デジタルを活用した快適な生活環境の確保

5. 飯南町における推進項目と具体的な取り組み

(1) 住民の利便性向上

- ・ 行政手続きのオンライン化（電子申請・入札など）
- ・ マイナンバーカードの普及
- ・ キャッシュレス決済の導入
- ・ 地域電子通貨の導入（令和5年度導入済み）
- ・ LINEを活用した情報発信・手続きの簡素化
- ・ 子育てサービスの電子化（母子手帳の電子化）
- ・ 学習機会の創出（スマホ講座の開催など）

(2) 地域の利便性向上

- ・ 農業支援（スマート農業、害獣対策）
- ・ 小中学校、高校におけるICT教育の推進
- ・ 情報通信基盤の整備
- ・ 地域電子通貨の導入（令和5年度導入済み）
- ・ 専門系事務職場(テレワーク職場)の誘致
- ・ 建設業のICT導入
- ・ オンライン診療

(3) 行政事務の効率化

- ・ システムの標準化・共通化（導入目標：令和8年度）
- ・ マイナンバーカードの活用
- ・ 内部業務のデジタル化、ペーパーレス化
- ・ 生成AIの利用促進（議事録作成システムなど）
- ・ テレワークの推進（環境整備）
- ・ 電子決裁システムの導入

6. 具体的な取り組みの推進スケジュール（別紙）

飯南町DX推進計画一覧表

項目	事業内容	必要性	スケジュール					予算・交付金等	担当課	進捗状況	備考
			R4	R5	R6	R7	R8				
住民の利便性向上	電子入札の実施	高	検討	導入済					総務課	令和4年度導入 令和5年8月利用開始	
住民の利便性向上	コンビニでの証明書（住民票等）の発行	高				検討	検討		住民課		
住民の利便性向上	再来受付機の導入	中	検討	導入済					病院	令和5年度導入 令和6年5月運用開始	
住民の利便性向上	インターネット予約システムの導入	中	検討	検討	検討	検討			病院		対面、電話による診療予約をネット対応が可能か検討する
住民の利便性向上	電子処方箋の運用	中		検討	導入済				病院	令和6年度導入 令和7年4月運用開始	
住民の利便性向上	マイナンバーカードの普及促進	高	導入済					個人番号カード交付事務費補助金	住民課		引き続き窓口にて申請サポート実施
住民の利便性向上	マイナ保険証の運用	中	導入済						病院	令和3年度導入 令和4年4月運用開始	
住民の利便性向上	商工業におけるキャッシュレス決済（ポイントの電子化）	高	検討	導入済				デジ田（デジタル実装タイプTYPE1）	産業振興課	令和5年度導入 令和5年12月運用開始	飯南町商工会事業（補助金交付）
住民の利便性向上	飯南町公式LINEの機能拡張	高		導入済				使用料：110,000円/月（税込）	まちづくり推進課	令和5年6月運用開始	
住民の利便性向上	飯南高校卒業生とのつながりづくり（LINE（無料）による情報発信）	高	検討	導入済					まちづくり推進課	令和4年度試験的導入 令和5年度導入	卒業生会として実施
住民の利便性向上	電子版母子手帳の普及	高			検討	検討	導入		保健福祉課	令和6年12月 無償使用契約（子育て支援に有効な情報や登録ができるアプリの使用が可能。このアプリが令和8年度電子版母子手帳に移行する予定。） 令和8年4月 有償契約予定（20千円/月）	令和8年度母子手帳の電子化が開始。 令和7年度に国から電子版母子手帳のガイドラインが示される予定。
住民の利便性向上	V R空き家バンク	高		導入済				使用料：30,000円/月（税込）	まちづくり推進課	令和5年度導入	
地域の利便性向上	スマート農業	高	検討	導入済				飯南町スマート農業導入支援事業費補助金交付要綱	産業振興課	令和5年度から機器導入支援	
地域の利便性向上	ICT教育（タブレット学習ドリル導入）	高	検討	検討	導入済			小学校（4校）265,430円 中学校（2校）204,820円	教育委員会	令和6年度から全小中学校で導入済	
地域の利便性向上	ICT教育（小中高一貫教育）	高	導入済						教育委員会	令和7年度に小中学校全児童生徒のタブレット端末の更新を予定	
地域の利便性向上	テレワーク職場の誘致	高	検討	検討	一部導入済	導入		中山間地域等専門系事務職場誘致促進事業補助金（県補助金）	産業振興課	令和4年度から企業誘致働きかけ 令和6年度環境整備（農業活性化センターにwi-fi環境、クロス修繕、椅子・テーブル等を整備）	県補助金ソフトを充てた企業誘致支援業務を委託（令和4～6年度）。 関わりを持つ企業は数社いるが、現時点で誘致に至っていない。
地域の利便性向上	オンライン診療の導入	中	検討	検討	検討	検討			病院	令和2年度 院内wi-fi整備済	診療体制等の運用方法が課題

飯南町DX推進計画一覧表

項目	事業内容	必要性	スケジュール					予算・交付金等	担当課	進捗状況	備考
			R4	R5	R6	R7	R8				
行政事務の効率化	標準化対象業務（基幹系業務）のシステムを標準化・共通化	高	検討	検討	検討	検討	導入	デジタル基盤改革支援補助金	総務課	令和8年度末移行完了予定	移行困難システムとして申請し、令和8年度末までの移行完了として実施中。各業務ごとに現行システムと標準化システムの差異分析を行っている。
行政事務の効率化	既存事務処理（Excelなど）の自動化	中	検討	検討	検討	検討			病院		既存の事務処理を見直し、手動から自動への切り替えに積極的取り組む
行政事務の効率化	ペーパーレスシステム整備	中		検討	導入済			システム整備費：3,852千円 導入設定等：253千円 使用料：33,000円/月（税込）	議会事務局	令和6年度導入・利用開始	
行政事務の効率化	水道スマートメーターの導入	高		検討	一部導入済	検討	検討	メーター購入費：86千円 クライアント利用料：1,100円/月 データ利用・提供料【8戸】：2,340円/月（税込）	建設課	令和6年度試験導入（程原8戸）	メーター購入費が高額であり、全面導入には引き続き検討が必要
行政事務の効率化	積雪深自動モニタリングシステムの導入	高			検討	検討	導入		建設課	令和8年度導入・利用開始予定	
行政事務の効率化	AIによる議事録作成支援システムの導入	高		導入済				使用料：88,000円/月（税込）	総務課	令和5年度導入 令和5年6月利用開始	
行政事務の効率化	勤怠管理システムの導入	高	検討	導入済					総務課	令和4年度導入 令和5年度利用開始	